

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	足柄上病院	2	三浦市	市立病院	20
-	汐見台病院	3	厚木市	市立病院	21
-	精神医療センター	4	大和市	市立病院	22
-	がんセンター	5			
-	循環器呼吸器病センター	6			
-	こども医療センター	7			
横浜市	市民病院	8			
横浜市	みなと赤十字病院	9			
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	10			
川崎市	川崎病院	11			
川崎市	井田病院	12			
川崎市	多摩病院	13			
横須賀市	市民病院	14			
横須賀市	うわまち病院	15			
平塚市	平塚市民病院	16			
藤沢市	藤沢市民病院	17			
小田原市	市立病院	18			
茅ヶ崎市	市立病院	19			

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	足柄上病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,842,004,886	
標準財政規模(千円)	1,293,018,594	
財政力指数	0.89998	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	120.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	92,073			
1 経常収益	92,073			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	92,073			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	92,073			
2 経常費用	92,073			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	92,073			
(うち支払利息)	92,073	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	4,671,663			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	
	病院名	汐見台病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,842,004,886	
標準財政規模(千円)	1,293,018,594	
財政力指数	0.89998	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	120.3

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,227			
1 経常収益	2,227			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,227			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,227			
2 経常費用	2,227			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	2,227			
(うち支払利息)	2,227	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	55,907			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,842,004,886	
標準財政規模(千円)	1,293,018,594	
財政力指数	0.89998	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	120.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,500			
1 経常収益	1,500			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,500			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,500			
2 経常費用	1,500			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	96.0
材料費	-	-	24.1	8.6
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.0
減価償却費	-	-	9.2	12.5
経費	-	-	23.2	34.0
(うち委託料)	-	-	11.3	16.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,500			
(うち支払利息)	1,500	-	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	53,180			
経常収支比率	100.0		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,842,004,886	
標準財政規模(千円)	1,293,018,594	
財政力指数	0.89998	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	120.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,067			
1 経常収益	4,067			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,067			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,067			
2 経常費用	4,067			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,067			
(うち支払利息)	4,067	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	75,647			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器呼吸器病センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	1,842,004,886	
標準財政規模(千円)	1,293,018,594	
財政力指数	0.89998	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	120.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	66,654			
1 経常収益	66,654			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	66,654			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	66,654			
2 経常費用	66,654			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	66,654			
(うち支払利息)	66,654	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,017,368			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	こども医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,126,213	
決算規模（千円）	1,842,004,886	
標準財政規模（千円）	1,293,018,594	
財政力指数	0.89998	
経常収支比率（%）	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.3
	将来負担比率（%）	120.3

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	156,592			
1 経常収益	156,592			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	156,592			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	156,592			
2 経常費用	156,592			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	156,592			
(うち支払利息)	156,592	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	7,178,164			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,124 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	624	87.9	89.0	88.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	-	-	-
計	650	84.4	85.4	84.7
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	11.4	11.5

設立団体の状況		
人口（人）	3,724,844	
決算規模（千円）	1,730,887,224	
標準財政規模（千円）	940,364,001	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.2
	将来負担比率（%）	138.5

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,004,189			
1 経常収益	22,925,661			
(1) 医業収益	21,263,017			
入院収益	14,361,061			
外来収益	6,236,215			
診療収入計	20,597,276			
その他医業収益	665,741			
(うち他会計負担金)	178,871			
(2) 医業外収益	1,662,644			
(うち国・都道府県補助金)	74,778			
(うち他会計補助・負担金)	911,053			
(うち長期前受金戻入)	394,438			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	78,528			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,193,017			
2 経常費用	22,250,237			
(1) 医業費用	21,507,385			
職員給与費	9,458,515	44.5	56.0	49.8
材料費	6,037,120	28.4	24.1	28.0
(うち薬品費)	3,228,108	15.2	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,698,046	12.7	11.1	12.8
減価償却費	952,520	4.5	9.2	8.3
経費	4,990,138	23.5	23.2	20.7
(うち委託料)	1,802,463	8.5	11.3	11.4
研究研修費	61,973			
資産減耗費	7,119			
(2) 医業外費用	742,852			
(うち支払利息)	20,327	0.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	942,780			
損益				
経常損益	675,424			
純損益	-188,828			
累積欠損金	5,304,531			
経常収支比率	103.0		98.2	99.5
医業収支比率	98.9		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.1		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	98.1		86.0	90.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	78,543,443
1 固定資産	69,250,351
(1) 有形固定資産	68,084,157
(2) 無形固定資産	229,494
(3) 投資その他の資産	936,700
2 流動資産	9,293,092
(1) 現金及び預金	4,423,098
(2) 未収金及び未収収益	4,642,105
(3) 貸倒引当金（ ）	6,047
(4) 貯蔵品	202,027
3 繰延資産	-
負債合計	75,539,859
1 固定負債	59,065,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,541,870
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,524,069
(7) リース債務	-
2 流動負債	11,056,409
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,285,844
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,069,568
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,635,383
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,417,511
(1) 長期前受金	18,090,528
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	12,673,017
資本合計	3,003,584
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,513,488
(1) 資本金剰余金	8,284,288
(2) 利益剰余金	-42,797,776
負債・資本合計	78,543,443
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	98.0
修正医業収支金額（千円）	21,084,146

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,089,924	1,089,924
資本勘定繰入	604,770	604,770
計	1,694,694	1,694,694

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	163.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横浜市
	病院名	みなと赤十字病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	74,148 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地
診療科数	36	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	584	87.5	83.5	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	54.1	62.1	64.1
感染症	-	-	-	-
計	634	84.8	81.8	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	10.2	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,730,887,224	
標準財政規模(千円)	940,364,001	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	138.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,633,957			
1 経常収益	2,631,878			
(1) 医業収益	61,214			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	61,214			
(うち他会計負担金)	61,214			
(2) 医業外収益	2,570,664			
(うち国・都道府県補助金)	43,604			
(うち他会計補助・負担金)	641,857			
(うち長期前受金戻入)	1,260,279			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,079			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,653,026			
2 経常費用	2,637,405			
(1) 医業費用	1,943,718			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	1,556,506	2542.7	9.2	8.3
経費	384,662	628.4	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	2,550			
(2) 医業外費用	693,687			
(うち支払利息)	572,756	935.7	1.6	1.4
(3) 特別損失	15,621			
経常損益	-5,527			
純損益	-19,069			
累積欠損金	12,352,427			
経常収支比率	99.8		98.2	99.5
医業収支比率	3.1		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	26.7		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	1148.5		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	26.7		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	73.1		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,543,443
1 固定資産	69,250,351
(1) 有形固定資産	68,084,157
(2) 無形固定資産	229,494
(3) 投資その他の資産	936,700
2 流動資産	9,293,092
(1) 現金及び預金	4,423,098
(2) 未収金及び未収収益	4,642,105
(3) 貸倒引当金()	6,047
(4) 貯蔵品	202,027
3 繰延資産	-
負債合計	75,539,859
1 固定負債	59,065,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,541,870
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,524,069
(7) リース債務	-
2 流動負債	11,056,409
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,285,844
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,069,568
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,635,383
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,417,511
(1) 長期前受金	18,090,528
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,673,017
資本合計	3,003,584
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,513,488
(1) 資本金剰余金	8,284,288
(2) 利益剰余金	-42,797,776
負債・資本合計	78,543,443
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	693,767	703,071
資本勘定繰入	1,264,458	1,489,579
計	1,958,225	2,192,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	163.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	脳卒中・神経脊椎センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	10	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	77.7	77.6	81.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	77.7	77.6	81.5
平均在院日数（一般病床のみ）		31.4	30.9	31.1

設立団体の状況		
人口（人）	3,724,844	
決算規模（千円）	1,730,887,224	
標準財政規模（千円）	940,364,001	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.2
	将来負担比率（%）	138.5

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,446,118			
1 経常収益	7,433,976			
(1) 医業収益	4,928,758			
入院収益	4,265,016			
外来収益	510,184			
診療収入計	4,775,200			
その他医業収益	153,558			
(うち他会計負担金)	99,628			
(2) 医業外収益	2,505,218			
(うち国・都道府県補助金)	637			
(うち他会計補助・負担金)	1,917,869			
(うち長期前受金戻入)	427,869			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,142			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,176,743			
2 経常費用	7,661,004			
(1) 医業費用	7,214,847			
職員給与費	3,605,842	73.2	56.0	57.1
材料費	801,228	16.3	24.1	23.9
(うち薬品費)	226,706	4.6	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	484,768	9.8	11.1	11.4
減価償却費	731,151	14.8	9.2	9.5
経費	2,057,891	41.8	23.2	22.0
(うち委託料)	866,910	17.6	11.3	10.8
研究研修費	10,786			
資産減耗費	7,949			
(2) 医業外費用	446,157			
(うち支払利息)	259,976	5.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	515,739			
損益				
経常損益	-227,028			
純損益	-730,625			
累積欠損金	25,140,818			
経常収支比率	97.0		98.2	96.7
医業収支比率	68.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	40.9		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	70.7		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	78,543,443
1 固定資産	69,250,351
(1) 有形固定資産	68,084,157
(2) 無形固定資産	229,494
(3) 投資その他の資産	936,700
2 流動資産	9,293,092
(1) 現金及び預金	4,423,098
(2) 未収金及び未収収益	4,642,105
(3) 貸倒引当金（ ）	6,047
(4) 貯蔵品	202,027
3 繰延資産	-
負債合計	75,539,859
1 固定負債	59,065,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,541,870
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,524,069
(7) リース債務	-
2 流動負債	11,056,409
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,285,844
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,069,568
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,635,383
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,417,511
(1) 長期前受金	18,090,528
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	12,673,017
資本合計	3,003,584
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,513,488
(1) 資本金剰余金	8,284,288
(2) 利益剰余金	-42,797,776
負債・資本合計	78,543,443
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	66.9
修正医業収支金額（千円）	4,829,130

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,017,497	2,017,497
資本勘定繰入	933,640	933,640
計	2,951,137	2,951,137

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	163.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	川崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,890 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	42	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	663	74.2	77.1	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	44.2	52.6	60.7
感染症	12	-	-	-
計	713	71.3	74.5	70.5
平均在院日数（一般病床のみ）		12.4	12.6	11.6

設立団体の状況		
人口（人）	1,475,213	
決算規模（千円）	712,401,058	
標準財政規模（千円）	368,483,160	
財政力指数	1.01	
経常収支比率（%）	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.3
	将来負担比率（%）	120.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,209,206			
1 経常収益	20,534,822			
(1) 医業収益	17,652,874			
入院収益	11,691,658			
外来収益	4,612,851			
診療収入計	16,304,509			
その他医業収益	1,348,365			
(うち他会計負担金)	1,084,701			
(2) 医業外収益	2,881,948			
(うち国・都道府県補助金)	44,876			
(うち他会計補助・負担金)	1,990,144			
(うち長期前受金戻入)	353,624			
(うち資本費繰入収益)	252,279			
(3) 特別利益	674,384			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,019,365			
2 経常費用	19,875,558			
(1) 医業費用	18,985,605			
職員給与費	8,108,787	45.9	56.0	49.8
材料費	4,113,317	23.3	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,186,449	12.4	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,809,878	10.3	11.1	12.8
減価償却費	1,138,919	6.5	9.2	8.3
経費	5,542,798	31.4	23.2	20.7
(うち委託料)	2,458,072	13.9	11.3	11.4
研究研修費	72,493			
資産減耗費	9,291			
(2) 医業外費用	889,953			
(うち支払利息)	302,513	1.7	1.6	1.4
(3) 特別損失	143,807			
損益				
経常損益	659,264			
純損益	1,189,841			
累積欠損金	4,171,538			
経常収支比率	103.3		98.2	99.5
医業収支比率	93.0		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	17.4		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	14.5		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	87.8		86.0	90.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	53,576,176
1 固定資産	46,770,412
(1) 有形固定資産	46,766,997
(2) 無形固定資産	3,415
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,805,764
(1) 現金及び預金	2,354,544
(2) 未収金及び未収収益	4,349,566
(3) 貸倒引当金（ ）	138,150
(4) 貯蔵品	142,254
3 繰延資産	-
負債合計	62,117,381
1 固定負債	52,083,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,590,196
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,431,382
(7) リース債務	61,709
2 流動負債	8,701,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,767,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	863,052
(6) リース債務	27,240
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,896,606
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,333,059
(1) 長期前受金	12,955,777
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	11,622,718
資本合計	-8,541,205
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-24,366,958
(1) 資本金剰余金	1,617,949
(2) 利益剰余金	-25,984,907
負債・資本合計	53,576,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	8,541,205
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	7,208,146
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	87.3
修正医業収支金額（千円）	16,568,173

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,053,276	3,074,845
資本勘定繰入	1,269,982	1,269,982
計	4,323,258	4,344,827

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	97.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	井田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,071 m ²	指定病院の状況	救臨が	輪	
診療科数	37	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	343	83.5	81.9	77.9
療養	-	-	-	-
結核	40	38.4	55.5	43.7
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	78.8	79.2	74.3
平均在院日数（一般病床のみ）		15.5	14.5	13.4

設立団体の状況		
人口（人）	1,475,213	
決算規模（千円）	712,401,058	
標準財政規模（千円）	368,483,160	
財政力指数	1.01	
経常収支比率（%）	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.3
	将来負担比率（%）	120.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,994,360			
1 経常収益	9,964,073			
(1) 医業収益	8,067,007			
入院収益	4,948,011			
外来収益	2,581,033			
診療収入計	7,529,044			
その他医業収益	537,963			
(うち他会計負担金)	330,575			
(2) 医業外収益	1,897,066			
(うち国・都道府県補助金)	13,001			
(うち他会計補助・負担金)	1,436,380			
(うち長期前受金戻入)	202,240			
(うち資本費繰入収益)	139,021			
(3) 特別利益	30,287			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,467,419			
2 経常費用	10,434,440			
(1) 医業費用	9,911,751			
職員給与費	4,252,327	52.7	56.0	57.1
材料費	1,908,452	23.7	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,094,872	13.6	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	749,036	9.3	11.1	11.4
減価償却費	1,002,480	12.4	9.2	9.5
経費	2,708,149	33.6	23.2	22.0
(うち委託料)	1,162,530	14.4	11.3	10.8
研究研修費	19,806			
資産減耗費	20,537			
(2) 医業外費用	522,689			
(うち支払利息)	246,856	3.1	1.6	1.6
(3) 特別損失	32,979			
損益				
経常損益	-470,367			
純損益	-473,059			
累積欠損金	18,507,692			
経常収支比率	95.5		98.2	96.7
医業収支比率	81.4		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	17.7		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	78.6		86.0	85.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	53,576,176
1 固定資産	46,770,412
(1) 有形固定資産	46,766,997
(2) 無形固定資産	3,415
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,805,764
(1) 現金及び預金	2,354,544
(2) 未収金及び未収収益	4,349,566
(3) 貸倒引当金（ ）	138,150
(4) 貯蔵品	142,254
3 繰延資産	-
負債合計	62,117,381
1 固定負債	52,083,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,590,196
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,431,382
(7) リース債務	61,709
2 流動負債	8,701,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,767,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	863,052
(6) リース債務	27,240
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,896,606
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,333,059
(1) 長期前受金	12,955,777
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	11,622,718
資本合計	-8,541,205
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-24,366,958
(1) 資本剰余金	1,617,949
(2) 利益剰余金	-25,984,907
負債・資本合計	53,576,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	8,541,205
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	7,208,146
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	78.1
修正医業収支金額（千円）	7,736,432

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,756,601	1,766,955
資本勘定繰入	359,298	359,298
計	2,115,899	2,126,253

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	97.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	川崎市
				病院名	多摩病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,620 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	376	81.9	82.9	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	81.9	82.9	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.3	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	712,401,058	
標準財政規模(千円)	368,483,160	
財政力指数	1.01	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	120.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.9
修正医業収支金額(千円)	670,318

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,951,829			
1 経常収益	1,934,563			
(1) 医業収益	979,976			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	979,976			
(うち他会計負担金)	309,658			
(2) 医業外収益	954,587			
(うち国・都道府県補助金)	1,935			
(うち他会計補助・負担金)	462,804			
(うち長期前受金戻入)	489,313			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,266			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,798,734			
2 経常費用	1,796,072			
(1) 医業費用	1,461,647			
職員給与費	27,874	2.8	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	760,261	77.6	9.2	9.5
経費	664,592	67.8	23.2	22.0
(うち委託料)	28,174	2.9	11.3	10.8
研究研修費	-			
資産減耗費	8,920			
(2) 医業外費用	334,425			
(うち支払利息)	334,425	34.1	1.6	1.6
(3) 特別損失	2,662			
損益				
経常損益	138,491			
純損益	153,095			
累積欠損金	3,305,677			
経常収支比率	107.7		98.2	96.7
医業収支比率	67.0		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	39.9		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	78.8		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	39.6		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	64.7		86.0	85.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,576,176
1 固定資産	46,770,412
(1) 有形固定資産	46,766,997
(2) 無形固定資産	3,415
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,805,764
(1) 現金及び預金	2,354,544
(2) 未収金及び未収収益	4,349,566
(3) 貸倒引当金()	138,150
(4) 貯蔵品	142,254
3 繰延資産	-
負債合計	62,117,381
1 固定負債	52,083,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,590,196
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,431,382
(7) リース債務	61,709
2 流動負債	8,701,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,767,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	863,052
(6) リース債務	27,240
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,896,606
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,333,059
(1) 長期前受金	12,955,777
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,622,718
資本合計	-8,541,205
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-24,366,958
(1) 資本剰余金	1,617,949
(2) 利益剰余金	-25,984,907
負債・資本合計	53,576,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	8,541,205
資本不足額(繰延収益控除後)()	7,208,146
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	772,462	772,462
資本勘定繰入	642,703	642,703
計	1,415,165	1,415,165

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,943 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	476	55.1	54.5	48.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	482	54.4	53.9	47.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	14.2	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	149,957,452	
標準財政規模(千円)	82,820,418	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	102.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	36.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	692,405			
1 経常収益	692,405			
(1) 医業収益	418,714			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	418,714			
(うち他会計負担金)	399,000			
(2) 医業外収益	273,691			
(うち国・都道府県補助金)	12,815			
(うち他会計補助・負担金)	232,000			
(うち長期前受金戻入)	14,970			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	792,472			
2 経常費用	782,354			
(1) 医業費用	750,148			
職員給与費	27,343	6.5	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	588,340	140.5	9.2	8.3
経費	127,313	30.4	23.2	19.0
(うち委託料)	20,608	4.9	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	7,152			
(2) 医業外費用	32,206			
(うち支払利息)	21,918	5.2	1.6	1.5
(3) 特別損失	10,118			
損益				
経常損益	-89,949			
純損益	-100,067			
累積欠損金	7,229,285			
経常収支比率	88.5		98.2	99.3
医業収支比率	55.8		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	91.1		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	150.7		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	91.1		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	7.8		86.0	89.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,958,056
1 固定資産	12,352,993
(1) 有形固定資産	12,349,312
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,605,063
(1) 現金及び預金	3,558,013
(2) 未収金及び未収収益	52,446
(3) 貸倒引当金()	5,404
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,543,569
1 固定負債	4,263,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,203,338
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	60,605
(7) リース債務	-
2 流動負債	554,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	513,946
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,148
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,043
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	725,241
(1) 長期前受金	1,943,012
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,217,771
資本合計	10,414,487
1 資本金	12,386,956
2 剰余金	-1,972,469
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,034,096
負債・資本合計	15,958,056
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.6
修正医業収支金額(千円)	19,714

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	692,514	631,000
資本勘定繰入	200,261	195,000
計	892,775	826,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	868.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	うわまち病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,514 m ²	指定病院の状況	救臨 地 輪
診療科数	28	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	30 年 度	29 年 度	28 年 度
一 般	367	80.4	83.3	84.1
療 養	50	68.8	29.3	79.6
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	417	79.0	76.9	83.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.3	11.3

設立団体の状況		
人 口 (人)	406,586	
決 算 規 模 (千円)	149,957,452	
標 準 財 政 規 模 (千円)	82,820,418	
財 政 力 指 数	0.82	
経 常 収 支 比 率 (%)	102.1	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.4
	将来負担比率 (%)	36.5

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	609,536			
1 経 常 収 益	609,536			
(1) 医 業 収 益	276,342			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	276,342			
(うち他会計負担金)	253,000			
(2) 医 業 外 収 益	333,194			
(うち国・都道府県補助金)	12,212			
(うち他会計補助・負担金)	129,000			
(うち長期前受金戻入)	61,901			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	578,637			
2 経 常 費 用	578,637			
(1) 医 業 費 用	550,597			
職 員 給 与 費	45,473	16.5	56.0	54.1
材 料 費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減 価 償 却 費	357,940	129.5	9.2	8.3
経 費	146,145	52.9	23.2	19.0
(うち委託料)	29,364	10.6	11.3	9.1
研 究 研 修 費	-			
資 産 減 耗 費	1,039			
(2) 医 業 外 費 用	28,040			
(うち支払利息)	19,688	7.1	1.6	1.5
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	30,899			
純 損 益	30,899			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	105.3		98.2	99.3
医 業 収 支 比 率	50.2		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	62.7		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	138.2		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	62.7		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	39.3		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	15,958,056
1 固 定 資 産	12,352,993
(1) 有 形 固 定 資 産	12,349,312
(2) 無 形 固 定 資 産	3,681
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	3,605,063
(1) 現 金 及 び 預 金	3,558,013
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	52,446
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	5,404
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	5,543,569
1 固 定 負 債	4,263,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,203,338
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	60,605
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	554,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	513,946
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	5,148
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	32,043
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	725,241
(1) 長 期 前 受 金	1,943,012
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	1,217,771
資 本 合 計	10,414,487
1 資 本 金	12,386,956
2 剰 余 金	-1,972,469
(1) 資 本 剰 余 金	4,061,627
(2) 利 益 剰 余 金	-6,034,096
負 債 ・ 資 本 合 計	15,958,056
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	4.2
修正医業収支金額 (千円)	23,342

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	467,228	382,000
資本勘定繰入	263,603	184,000
計	730,831	566,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	868.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	平塚市
	病院名	平塚市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,719 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪
診療科数	29	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	410	85.4	79.9	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	84.2	78.8	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.2	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	258,227	
決算規模(千円)	82,226,636	
標準財政規模(千円)	48,971,976	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	23.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.9
修正医業収支金額(千円)	11,783,291

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,764,158			
1 経常収益	13,601,910			
(1) 医業収益	12,183,836			
入院収益	8,555,155			
外来収益	2,961,019			
診療収入計	11,516,174			
その他医業収益	667,662			
(うち他会計負担金)	400,545			
(2) 医業外収益	1,418,074			
(うち国・都道府県補助金)	41,807			
(うち他会計補助・負担金)	974,186			
(うち長期前受金戻入)	140,224			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	162,248			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,718,724			
2 経常費用	13,475,085			
(1) 医業費用	12,956,356			
職員給与費	5,881,710	48.3	56.0	54.1
材料費	2,466,626	20.2	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,090,044	8.9	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,376,582	11.3	11.1	12.3
減価償却費	1,061,105	8.7	9.2	8.3
経費	3,458,101	28.4	23.2	19.0
(うち委託料)	1,408,348	11.6	11.3	9.1
研究研修費	30,782			
資産減耗費	58,032			
(2) 医業外費用	518,729			
(うち支払利息)	105,578	0.9	1.6	1.5
(3) 特別損失	243,639			
損益				
経常損益	126,825			
純損益	45,434			
累積欠損金	5,568,178			
経常収支比率	100.9		98.2	99.3
医業収支比率	94.0		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	90.7		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,527,498
1 固定資産	18,344,887
(1) 有形固定資産	16,550,365
(2) 無形固定資産	620,345
(3) 投資その他の資産	1,174,177
2 流動資産	4,182,611
(1) 現金及び預金	1,613,567
(2) 未収金及び未収収益	2,597,328
(3) 貸倒引当金()	107,842
(4) 貯蔵品	64,980
3 繰延資産	-
負債合計	21,694,653
1 固定負債	18,436,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,525,386
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,500,000
(6) 引当金	2,101,951
(7) リース債務	309,201
2 流動負債	2,049,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	614,168
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	390,633
(6) リース債務	119,004
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	913,982
(9) 前受金及び前受収益	1,829
3 繰延収益	1,208,539
(1) 長期前受金	2,435,296
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,226,757
資本合計	832,845
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-5,366,747
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,366,747
負債・資本合計	22,527,498
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,390,194	1,374,731
資本勘定繰入	476,498	154,213
計	1,866,692	1,528,944

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	藤沢市
				病院名	藤沢市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,646 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	35	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	530	89.9	90.1	87.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	536	88.9	89.1	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.8	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	423,894	
決算規模(千円)	144,900,479	
標準財政規模(千円)	83,685,066	
財政力指数	1.05	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.6
	将来負担比率(%)	42.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.3
修正医業収支金額(千円)	18,023,038

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,676,930			
1 経常収益	19,676,930			
(1) 医業収益	18,446,759			
入院収益	12,291,673			
外来収益	5,201,441			
診療収入計	17,493,114			
その他医業収益	953,645			
(うち他会計負担金)	423,721			
(2) 医業外収益	1,230,171			
(うち国・都道府県補助金)	101,796			
(うち他会計補助・負担金)	944,840			
(うち長期前受金戻入)	30,553			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,274,227			
2 経常費用	19,753,656			
(1) 医業費用	18,906,066			
職員給与費	8,683,670	47.1	56.0	49.8
材料費	4,784,041	25.9	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,194,401	11.9	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,458,677	13.3	11.1	12.8
減価償却費	1,385,786	7.5	9.2	8.3
経費	3,987,562	21.6	23.2	20.7
(うち委託料)	2,091,550	11.3	11.3	11.4
研究研修費	43,201			
資産減耗費	21,806			
(2) 医業外費用	847,590			
(うち支払利息)	102,456	0.6	1.6	1.4
(3) 特別損失	520,571			
損益				
経常損益	-76,726			
純損益	-597,297			
累積欠損金	3,641,027			
経常収支比率	99.6		98.2	99.5
医業収支比率	97.6		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	92.7		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,165,616
1 固定資産	16,121,419
(1) 有形固定資産	15,107,762
(2) 無形固定資産	514,445
(3) 投資その他の資産	499,212
2 流動資産	8,044,197
(1) 現金及び預金	4,988,283
(2) 未収金及び未収収益	3,032,804
(3) 貸倒引当金()	26,441
(4) 貯蔵品	39,451
3 繰延資産	-
負債合計	18,174,746
1 固定負債	15,078,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,874,582
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,861,861
(7) リース債務	342,184
2 流動負債	2,599,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	272,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	530,443
(6) リース債務	131,895
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,580,226
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	496,866
(1) 長期前受金	840,443
(2) 長期前受金収益化累計額()	343,577
資本合計	5,990,870
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-3,585,020
(1) 資本金剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-3,641,027
負債・資本合計	24,165,616
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,555,389	1,368,561
資本勘定繰入	6,221	6,221
計	1,561,610	1,374,782

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	小田原市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	26	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	417	83.2	82.6	82.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	83.2	82.6	82.0
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.0	10.8

設立団体の状況		
人口（人）	194,086	
決算規模（千円）	72,159,057	
標準財政規模（千円）	38,128,053	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.0
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.0
修正医業収支金額（千円）	11,695,982

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	13,260,167				
1 経常収益	13,260,167				
(1) 医業収益	11,942,559				
入院収益	8,391,062				
外来収益	3,187,475				
診療収入計	11,578,537				
その他医業収益	364,022				
(うち他会計負担金)	246,577				
(2) 医業外収益	1,317,608				
(うち国・都道府県補助金)	63,444				
(うち他会計補助・負担金)	1,173,423				
(うち長期前受金戻入)	11,293				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	13,097,989				
2 経常費用	13,046,694				
(1) 医業費用	12,582,808				
職員給与費	6,056,821	50.7	56.0	54.1	
材料費	2,972,547	24.9	24.1	26.3	
(うち薬品費)	1,483,538	12.4	12.6	13.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,488,168	12.5	11.1	12.3	
減価償却費	747,746	6.3	9.2	8.3	
経費	2,774,769	23.2	23.2	19.0	
(うち委託料)	1,125,397	9.4	11.3	9.1	
研究研修費	25,979				
資産減耗費	4,946				
(2) 医業外費用	463,886				
(うち支払利息)	12,328	0.1	1.6	1.5	
(3) 特別損失	51,295				
損益					
経常損益	213,473				
純損益	162,178				
累積欠損金	-				
経常収支比率	101.6		98.2	99.3	
医業収支比率	94.9		88.3	92.3	
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		12.5	9.9	
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.6	11.2	
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.5	9.9	
実質収益対経常費用比率	90.8		86.0	89.4	

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	10,376,679
1 固定資産	5,616,640
(1) 有形固定資産	5,424,654
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	191,986
2 流動資産	4,760,039
(1) 現金及び預金	2,514,074
(2) 未収金及び未収収益	2,233,519
(3) 貸倒引当金（ ）	13,541
(4) 貯蔵品	25,987
3 繰延資産	-
負債合計	3,856,763
1 固定負債	1,761,690
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	603,256
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	950,152
(7) リース債務	208,282
2 流動負債	1,972,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,133
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	341,209
(6) リース債務	231,551
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,164,849
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	122,933
(1) 長期前受金	503,299
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	380,366
資本合計	6,519,916
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	1,647,253
(1) 資本剰余金	176,813
(2) 利益剰余金	1,470,440
負債・資本合計	10,376,679
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,522,347	1,420,000
資本勘定繰入	382,969	-
計	1,905,316	1,420,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	茅ヶ崎市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,444 m ²	指定病院の状況	救臨 災地		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	401	74.3	75.2	70.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	74.3	75.2	70.9
平均在院日数（一般病床のみ）		10.7	11.4	11.5

設立団体の状況		
人口（人）	239,348	
決算規模（千円）	74,812,521	
標準財政規模（千円）	41,647,212	
財政力指数	0.95	
経常収支比率（%）	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.5
	将来負担比率（%）	48.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	85.6
修正医業収支金額（千円）	9,487,396

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,833,462			
1 経常収益	10,641,502			
(1) 医業収益	9,957,060			
入院収益	6,181,458			
外来収益	2,993,436			
診療収入計	9,174,894			
その他医業収益	782,166			
(うち他会計負担金)	469,664			
(2) 医業外収益	684,442			
(うち国・都道府県補助金)	40,083			
(うち他会計補助・負担金)	324,974			
(うち長期前受金戻入)	257,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	191,960			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,621,808			
2 経常費用	11,589,598			
(1) 医業費用	11,089,021			
職員給与費	5,804,313	58.3	56.0	54.1
材料費	2,227,081	22.4	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,123,948	11.3	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,037,380	10.4	11.1	12.3
減価償却費	905,375	9.1	9.2	8.3
経費	2,114,331	21.2	23.2	19.0
(うち委託料)	1,194,765	12.0	11.3	9.1
研究研修費	30,729			
資産減耗費	7,192			
(2) 医業外費用	500,577			
(うち支払利息)	136,452	1.4	1.6	1.5
(3) 特別損失	32,210			
経常損益	-948,096			
純損益	-788,346			
累積欠損金	5,706,611			
経常収支比率	91.8		98.2	99.3
医業収支比率	89.8		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	85.0		86.0	89.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	14,189,064
1 固定資産	10,195,784
(1) 有形固定資産	9,673,487
(2) 無形固定資産	346,203
(3) 投資その他の資産	176,094
2 流動資産	3,993,280
(1) 現金及び預金	2,373,440
(2) 未収金及び未収収益	1,627,553
(3) 貸倒引当金（ ）	91,816
(4) 貯蔵品	84,103
3 繰延資産	-
負債合計	12,733,371
1 固定負債	10,188,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,127,624
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,858,983
(7) リース債務	201,533
2 流動負債	2,117,112
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	652,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,052
(6) リース債務	129,337
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	951,065
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	428,119
(1) 長期前受金	5,376,086
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	4,947,967
資本合計	1,455,693
1 資本金	5,383,112
2 剰余金	-3,927,419
(1) 資本剰余金	1,779,192
(2) 利益剰余金	-5,706,611
負債・資本合計	14,189,064
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	794,638	794,638
資本勘定繰入	482,810	404,012
計	1,277,448	1,198,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	57.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	三浦市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,393 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	136	89.3	83.2	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	89.3	83.2	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	12.9	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	45,289	
決算規模(千円)	16,938,630	
標準財政規模(千円)	9,858,875	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	103.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.0
	将来負担比率(%)	156.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.7
修正医業収支金額(千円)	2,339,152

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,627,905			
1 経常収益	2,627,508			
(1) 医業収益	2,494,192			
入院収益	1,576,768			
外来収益	610,907			
診療収入計	2,187,675			
その他医業収益	306,517			
(うち他会計負担金)	155,040			
(2) 医業外収益	133,316			
(うち国・都道府県補助金)	2,885			
(うち他会計補助・負担金)	81,302			
(うち長期前受金戻入)	21,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	397			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,665,054			
2 経常費用	2,651,461			
(1) 医業費用	2,524,632			
職員給与費	1,294,744	51.9	56.0	61.8
材料費	286,123	11.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	124,241	5.0	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	160,801	6.4	11.1	8.2
減価償却費	197,656	7.9	9.2	10.4
経費	712,964	28.6	23.2	29.9
(うち委託料)	292,596	11.7	11.3	12.9
研究研修費	26,825			
資産減耗費	6,320			
(2) 医業外費用	126,829			
(うち支払利息)	42,406	1.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	13,593			
損益				
経常損益	-23,953			
純損益	-37,149			
累積欠損金	914,629			
経常収支比率	99.1		98.2	96.7
医業収支比率	98.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	90.2		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,968,626
1 固定資産	2,769,704
(1) 有形固定資産	2,759,461
(2) 無形固定資産	443
(3) 投資その他の資産	9,800
2 流動資産	1,198,922
(1) 現金及び預金	581,665
(2) 未収金及び未収収益	612,652
(3) 貸倒引当金()	8,394
(4) 貯蔵品	10,520
3 繰延資産	-
負債合計	3,085,383
1 固定負債	2,352,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,210,788
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	141,460
(7) リース債務	-
2 流動負債	622,240
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	187,478
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	92,722
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	325,310
(9) 前受金及び前受収益	4,272
3 繰延収益	110,895
(1) 長期前受金	296,968
(2) 長期前受金収益化累計額()	186,073
資本合計	883,243
1 資本金	1,797,872
2 剰余金	-914,629
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-914,629
負債・資本合計	3,968,626
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,342	236,342
資本勘定繰入	151,042	153,742
計	387,384	390,084

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	厚木市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,585 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	27	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	341	77.3	78.3	76.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	347	76.0	77.0	76.1
平均在院日数（一般病床のみ）		9.9	10.0	10.2

設立団体の状況		
人口（人）	225,714	
決算規模（千円）	90,123,862	
標準財政規模（千円）	53,857,996	
財政力指数	1.21	
経常収支比率（%）	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	2.4
	将来負担比率（%）	35.8

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,084,973			
1 経常収益	10,033,979			
(1) 医業収益	9,429,221			
入院収益	5,733,795			
外来収益	2,686,444			
診療収入計	8,420,239			
その他医業収益	1,008,982			
(うち他会計負担金)	815,914			
(2) 医業外収益	604,758			
(うち国・都道府県補助金)	29,878			
(うち他会計補助・負担金)	223,445			
(うち長期前受金戻入)	284,058			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50,994			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,122,181			
2 経常費用	10,999,017			
(1) 医業費用	10,551,095			
職員給与費	4,225,811	44.8	56.0	57.1
材料費	2,123,806	22.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,016,138	10.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,106,141	11.7	11.1	11.4
減価償却費	1,165,501	12.4	9.2	9.5
経費	3,009,256	31.9	23.2	22.0
(うち委託料)	1,363,805	14.5	11.3	10.8
研究研修費	22,266			
資産減耗費	4,455			
(2) 医業外費用	447,922			
(うち支払利息)	113,219	1.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	123,164			
損益				
経常損益	-965,038			
純損益	-1,037,208			
累積欠損金	6,751,238			
経常収支比率	91.2		98.2	96.7
医業収支比率	89.4		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	81.8		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	21,120,008
1 固定資産	19,354,926
(1) 有形固定資産	18,182,009
(2) 無形固定資産	48,692
(3) 投資その他の資産	1,124,225
2 流動資産	1,765,082
(1) 現金及び預金	285,158
(2) 未収金及び未収収益	1,425,753
(3) 貸倒引当金（ ）	1,996
(4) 貯蔵品	56,167
3 繰延資産	-
負債合計	22,774,265
1 固定負債	19,100,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,980,092
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,280,659
(6) 引当金	785,617
(7) リース債務	54,133
2 流動負債	2,955,143
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	963,802
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	33,194
(5) 引当金	287,430
(6) リース債務	52,380
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	809,754
(9) 前受金及び前受収益	2,700
3 繰延収益	718,621
(1) 長期前受金	2,062,507
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,343,886
資本合計	-1,654,257
1 資本金	1,734,683
2 剰余金	-3,388,940
(1) 資本剰余金	3,300,298
(2) 利益剰余金	-6,689,238
負債・資本合計	21,120,008
不良債務	226,259
実質資金不足額	226,259
資金不足額（ ）	1,654,257
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	935,636
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	81.6
修正医業収支金額（千円）	8,613,307

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,715,659	1,039,359
資本勘定繰入	441,693	451,193
計	2,157,352	1,490,552

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	226,259	2.4
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	71.6
健全化法上の資金不足額（千円）	226,259
健全化法上の資金不足比率（%）	2.3
地財法上の資金不足額（千円）	226,259
地財法上の資金不足比率（%）	2.3

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	大和市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	指定病院の状況	救臨が災輪		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	403	73.9	70.9	74.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	73.9	70.9	74.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.3	10.3	11.0

設立団体の状況		
人口（人）	232,922	
決算規模（千円）	74,380,989	
標準財政規模（千円）	41,331,682	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.6
	将来負担比率（%）	29.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	85.1
修正医業収支金額（千円）	9,785,398

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,434,694			
1 経常収益	11,430,941			
(1) 医業収益	10,153,620			
入院収益	6,233,544			
外来収益	3,206,629			
診療収入計	9,440,173			
その他医業収益	713,447			
(うち他会計負担金)	368,222			
(2) 医業外収益	1,277,321			
(うち国・都道府県補助金)	36,231			
(うち他会計補助・負担金)	989,748			
(うち長期前受金戻入)	157,614			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,753			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,107,017			
2 経常費用	12,040,787			
(1) 医業費用	11,500,089			
職員給与費	5,433,416	53.5	56.0	54.1
材料費	2,510,778	24.7	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,215,820	12.0	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,210,561	11.9	11.1	12.3
減価償却費	590,227	5.8	9.2	8.3
経費	2,921,712	28.8	23.2	19.0
(うち委託料)	1,008,442	9.9	11.3	9.1
研究研修費	21,040			
資産減耗費	22,916			
(2) 医業外費用	540,698			
(うち支払利息)	119,150	1.2	1.6	1.5
(3) 特別損失	66,230			
損益				
経常損益	-609,846			
純損益	-672,323			
累積欠損金	7,756,339			
経常収支比率	94.9		98.2	99.3
医業収支比率	88.3		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	83.7		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	12,390,500
1 固定資産	9,507,835
(1) 有形固定資産	8,087,891
(2) 無形固定資産	1,103,443
(3) 投資その他の資産	316,501
2 流動資産	2,882,665
(1) 現金及び預金	1,248,659
(2) 未収金及び未収収益	1,616,252
(3) 貸倒引当金（ ）	8,227
(4) 貯蔵品	17,673
3 繰延資産	-
負債合計	11,538,019
1 固定負債	6,061,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,402,919
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,658,837
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,541,060
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	787,998
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367,334
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,384,999
(9) 前受金及び前受収益	150
3 繰延収益	1,935,203
(1) 長期前受金	5,913,638
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,978,435
資本合計	852,481
1 資本金	3,836,194
2 剰余金	-2,983,713
(1) 資本剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-7,756,339
負債・資本合計	12,390,500
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,356,035	1,357,970
資本勘定繰入	-	2,700
計	1,356,035	1,360,670

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	76.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。